

きょうかいがっこうコーナー

2022. 1. 16

ねんかんたい しゅじつ  
年間 第2主日

ふくいん ヨハネ2. 1~11

そのとき、ガリラヤのカナでこんれいがあって、イエスのははがそこにいた。イエスもそのでしたちもこんれいにまねかれていた。ぶどうしゅがたりなくなったので、ははがイエスに、「ぶどうしゅがなくなりました」といった。イエスのははにはいわれた。「ふじんよ、わたしとどんなかわりがあるのです。わたしのときはまだきていません。」しかし、はははめしつかいたちに「このひとがなにかいいつけたら、そのとおりにしてください。」といった。そこには、ユダヤじんがきよめにもちいるいしのみずがめが6つおいてあった。いずれも2ないし3メートルスりのものである。

イエスが「みずがめにみずをいっぱいいれなさい」といわれると、めしつかいたちはかめのふちまでみずをみたした。イエスは「さあ、それをくんでえんかいのせわやくのところへもっていきなさい」といわれた。めしつかいたちははこんでいった。せわやくはぶどうしゅにかわったみずのあじみをした。このぶどうしゅがどこからきたのか、みずをくんだめしつかいたちはしっていたが、せわやくがしらなかったため、はなむこをよんで、いった。「だれでもはじめによいぶどうしゅをだし、よいがまわったところにおとったものをだすのですが、あなたはよいぶどうしゅをいままでとっておかれました。」イエスは、このさいしよのしるしをガリラヤのカナでおこなって、そのえいこうをあらわされた。それで、でしたちはイエスをしんじた。

クリスマスがおわって、きょうのにちようびはねんかんのだい2のにちようびにはいりました。ふくいんをよめばとてもわかりやすいはなしでしたね。

イエスさまがさいしよにおこなったきせき(しるし)のことをかいてあります。イエスさまは30さいになって、かみさまのやさしさをくにじゅうをまわってしらせはじめたところでした。12にんのもいっしょにガリラヤのカナでおこなったけっこんしに、まねかれて、マリアさまもそこにおられました。

けっこんしにいったことがあるひとはわかるとおもいます。ごちそうがでて、のみものもいろいろあって、おさけもです。イエスさまのくには、ぶどうしゅはドンドンのみです。ところがパーティのとうちゅうで、いちばんにぎやかなときに、マリアさまがとてもこまったことがあっているとわかりました。それは、ぶどうしゅがなくなっていることでした。マリアさまはイエスさまにそうだとすると、かんけいのないようなたいどのイエスさまでしたが、イエスさまは6つのみずがめのおみずをおいしいぶどうしゅにかえてしまいました。けっこんしきのせわやくをしていたひとが、びっくりして、はなむこをほめました。そのぶどうしゅが「どこから」きたのか、そのことをしているのは、イエスさまにしじされためしつかいとマリアさまだけでした。おかあさまのマリアさまがねがったとおりにごじぶんのちからでみずがめのみずをすごくおいしいぶどうしゅにかえられました。

わたしたちが気づかないところや、みえないところで、おめぐみをあたえてくださっています。いしきて、かんしゃできたらいいですね。

かみさまはいつもよいものをあたえてくださっています。たべもの、のみもの、きるもの、すむいえ、おともだち、かぞく、わたしたちのまわりにあるものはすべてかみさまがくださったものです。きづいていきますか。マリアさまのようにイエスさまのやさしさをしんじて、おねがいをするとよろこんで1ばんよいものをあたえてくださるので、イエスさまに「ありがとう」といいたいよね。

## ぬりえ

